

令和6年度第2回兵庫県スポーツ推進審議会 議事録

- 1 期 日 ・ 場 所 令和7年3月13日(木) 10:00～11:45
兵庫県学校厚生会館 2階大会議室
〒650-0012 神戸市中央区北長狭通4丁目7番34号
- 2 出 席 者
(委員12名) 長ヶ原委員 伊藤委員 倉委員 吉矢委員 鷗木委員
中西委員 小林委員 三上委員 角南委員 松本委員
榎並委員 川原委員

(行政関係者) 木村部長(県民生活部)
小倉次長(県民生活部)
丸山スポーツ推進調整官(県民生活部スポーツ振興課)
沖本副課長(福祉部ユニバーサル推進課)
森鼻副課長(県民生活部スポーツ振興課)
杉本事務局長(公益財団法人兵庫県スポーツ協会)
新谷マラソン担当官(県民生活部スポーツ振興課)
宮本競技・生涯スポーツ班長(県民生活部スポーツ振興課)
榎木主任スポーツ振興専門員(県民生活部スポーツ振興課)
蓬野主任スポーツ振興専門員(県民生活部スポーツ振興課)
- 3 開会あいさつ 木村部長
- 4 署名委員の指名 吉矢委員、川原委員に決定
- 5 前回議事録の報告 スポーツ振興課副課長より説明し、承認を受けた。
- 6 審 議 事 項
 - (1) 第2期兵庫県スポーツ推進計画令和7年度実施計画について
令和6年度の総括指標・関連指標の達成状況及び令和7年度各指標に関連する事業について、スポーツ振興課スポーツ推進調整官(以下、スポーツ推進調整官)が説明を行い、承認を受けた。
 - (2) 令和7年度スポーツ振興団体に交付する補助金について
スポーツ振興課副課長が説明を行い、承認を受けた。
- 7 報 告 事 項
 - (1) 令和7年度主要事業について
 - ① スポーツ振興課に関する主要事業について、スポーツ推進調整官が説明した。
※ 神戸マラソンについては、スポーツ振興課マラソン担当官が説明
 - ② ユニバーサル推進課に関する主要事業について、ユニバーサル推進課副課長が説明した。
 - (2) その他
特にご意見なし
- 8 諮問(第2期兵庫県スポーツ推進計画の一部改正について)
諮問書を、県民生活部長から長ヶ原兵庫県スポーツ推進審議会会長へ手交した。
- 9 閉会あいさつ 丸山スポーツ推進調整官
- 10 閉会

■ 委員の主な意見及び行政関係者の説明

審議事項 (1) 第2期兵庫県スポーツ推進計画令和7年度実施計画について

【鵜木委員】※子ども・ユーススポーツの推進について

- 子ども・ユーススポーツの推進に関連して、中学校部活動地域移行（展開）が、現場へ情報提供がなされていないのではないかと感じるが、何か動きは考えているのか。自分が関係する競技団体への会議に出席した際に、中学校教員を兼務している理事からは、今後どのように進むのか不透明であるとの話も聞いた。

【行政関係者（スポーツ振興課）】

- 中学生のスポーツ環境を維持していくという点については、現在教育委員会で様々な方向性を打ち出しつつある。一方で、競技の大会運営や強化等については、地域移行（展開）について定まっていないところもあり、中体連とも情報を共有・すり合わせながら進めていく必要があると感じている。

【角南委員】

- 県中体連としては、地域移行（展開）に伴い、引き続き地域の団体の参加も受け入れながら、大会運営を進めていく。中体連の目的には、大会運営だけでなく、中学生の心身の発達など教育的な部分もあるので、部活が地域に移行（展開）されたとしても、すぐには手放すことがないよう動いていきたい。

また、日本中体連も子どもたちの大会参加の観点や安心・安全な大会開催の観点から、中学校単位の参加だけでなく拠点校単位での参加、冷涼地開催や大会開催時間（朝・夜間）なども含め、スピード感を持って、柔軟な対応を検討している。

【吉矢委員】※子ども・ユーススポーツの推進について

- 部活動の地域移行（展開）に関して、子どもの安全を守っていく観点から言うと、知識を持った指導者の育成も大事だと感じるが、そのあたりはどうか。

【行政関係者（スポーツ振興課）】

- 現在、そこは地域移行（展開）を担当している教育委員会が、今後部活動をどのような活動形態にし、どのような指導者に任せようとしているのかによって、指導者育成も変わってくると感じる。本課としては、要請等があれば対応していく。

【行政関係者（県スポーツ協会）】

- 県スポーツ協会としては、これまで競技団体の指導者が日本スポーツ協会の「コーチ3」「コーチ4」の資格を取得することを支援してきたが、これまで以上に支援を強化していきたい。

【小林委員】

- 日本スケート連盟では来年度より、「コーチ2, 3」以上を取得していなければ選手の指導を含め、帯同もできないこととしている。地域移行（展開）になった際の部活動指導者に、そこまで（資格取得に費用のかかるコーチ2, 3など）を求めるのか、考えなければいけない問題だと思う。

【伊藤委員】※令和7年度実施計画事業について

- 令和7年度実施計画について、今年度、「スポーツを楽しむ観光コンテンツの展開」とあるが、説明では、「する」スポーツにターゲットが絞られているようにも感じた。兵庫県には、プロスポーツクラブもたくさんあり、県と連携しているチームも多いので、「みる」スポーツに関するコンテンツ作成も進めていただければと思う。

【三上委員】※障害者スポーツの推進について

- 現在、県内各地域で盛んに障害者スポーツの活動・普及が進んでいる。各地域で活動するにあたり、各種目団体で審判員取得制度を設定し活動していることから、公認指導者の取得の必要性が危ぶまれている。今後この数値は上がりにくいと考えている。

【三上委員】

- 兵庫県スポーツ推進委員会に関して、事務局が県からなくなると聞いているが、62年間続いた組織体制がなくなること、スポーツ推進委員会や市町の事務局を含め、今後の事業展開に非常に困

惑している。計画的な実行を希望する。

また、障害者スポーツに関して、要約筆記の方等の謝金が高額になってきており、当事者から事業開催に関して不満の声があがっている。今後、行政以外の事業でも合理的配慮の面から、予算化することが共生社会に繋がると考える。

【行政関係者（ユニバーサル推進課）】

- 障害者スポーツの指導者数に関して、また県以外が主催する事業での補助役員の費用負担に関しては、現状を鑑みながら、今後の対策について検討していく。

【長ヶ原会長】

- 指導者資格には、初級・中級・上級、トレーナー等があるが、障害者スポーツの普及には、新規の初級を受けてもらう取り組みも必要である。兵庫県では 14 大学で講習免除の授業も展開していることから、大学と連携することや若い世代に興味を持ってもらうことも重要である。

【行政関係者（スポーツ振興課）】

- スポーツ推進委員会の事務局に関しては、県内の活動状況等を踏まえ、今後の在り方について、県スポーツ推進委員会の方で相談いただいているところである。

報告事項 (1) 令和7年度主要事業について

【鶴木委員】※障害者スポーツの推進について

- パラスポーツ拡大推進プロジェクトについて、本学では障害者スポーツの応援協定を結んでいることもあり、国際大会の出場を目指されている方が練習に来られているが、コロナ禍前と比べて参加者数が減少していると感じている。ぜひ、周知を高める方法をお願いしたい。

【三上委員】※障害者スポーツの推進について

- のじぎく障害者スポーツ大会について、2月に入ってからのご案内、締切りまでの期間が2週間ほどと、障害者の方が申し込みをするには厳しい設定である。以前もお願いをした内容であるが、もう少し期間を長く設定するようお願いしたい。

【倉委員】※子ども・ユーススポーツの推進について

- 「乳幼児の運動習慣づくり」事業について、現状をお伝えする。実施計画の指標にも挙げられている「子どもを運動好き」に育てるには、小学校・中学校だけでなく、乳幼児の運動も影響しているということで、事業が立ち上がった。今回、事業の取り組みの一つとして、保育者に対して運動や睡眠、食事についても調査を行っている。今後は、調査を報告書にまとめ、それを基に啓発事業として講演会や、イベントでの周知を図る予定となっている。

諮問（第2期兵庫県スポーツ推進計画の一部改正について）

【長ヶ原会長】

- 本来であれば、令和8年度を中間見直しとしていたが、前倒しで令和7年度に行うという理解でよいのか。

【木村部長】

- 今回（令和7年度）の一部改正は、本来令和8年度に予定していた中間見直しを前倒しして行うということである。今後、国の計画の中間見直し等もあるが、その際に本県の計画も見直さなければならない状況であれば、またご相談をさせていただく。

【署名委員】

山 原 清 美

吉 矢 晋 一